

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(8)-イ	安全・安心な生活を支えるインフラの整備	施 策	①水道施設の整備、水道広域化の推進、水道用水の安定確保
			施策の小項目名	○水道広域化による水道サービスの向上と小規模水道事業の運営基盤の強化
主な取組	水道基盤強化推進事業		対応する成果指標	水道広域化実施市町村数（累計）
施策の方向	・離島地域における水道水の安定供給及び住民負担の軽減に向けて、水道広域化による水道サービスの向上と小規模水道事業の運営基盤の強化に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
小規模水道事業については、運営基盤の脆弱な事業体が多くあることから、効果的に運営基盤の安定化および水道サービスの向上を図るため水道広域化を推進する。今後、必要な施設整備等に要する経費への支援、各種調査等を実施する。□	県,市町村	水道用水供給対象を拡大する企業局への補助		
		企業局が遠方監視装置を整備する市町村数(累計)		
		—	1村	—(1村)
担当部課【連絡先】	保健医療介護部薬務生活衛生課 【 098-866-2055 】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	水道基盤強化推進事業			予算事業名	水道基盤強化推進事業	
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額	R8年度		
				主な財源	実施方法	
一括交付金 (ソフト)	補助	10,018	14,578	一括交付金 (ソフト)	直接実施	1,340
令和7年度活動内容				令和8年度活動計画		
水道広域化に必要な企業局が行う施設整備等の経費に対し支援を実施した。□				水道広域化に必要な技術支援の実施、今後の水道の広域連携、基盤強化を図るために必要となる検討業務の実施		

活動指標名	企業局が遠方監視装置を整備する市町村数（累計）		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	—	—	0	—	0.0%	未着手	水道広域化に必要な企業局が行う施設整備等の経費に対し支援した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
令和7年度は座間味村揚水試験【座間味第1井戸・阿真浅井戸】を実施。今後広域化を予定してしている本島周辺離島において、関係者との調整等(受贈用地登記等の問題等)により、施設整備等に遅れが生じている。							

様式1（主な取組）

（2）これまでの改善案の反映状況―	
令和7年度の実施改善案	反映状況
○・早期の水道広域化実現および水道サービス水準の向上を図るため、広域化を実施する県企業局に必要な施設整備等に対して支援する。 ・今後の水道広域化に向けた課題の整理・調整を実施する。	”・早期の水道広域化実現および水道サービス水準の向上を図れるよう、水道広域化（本島周辺離島8村への水道用水供給拡大）を実施する県企業局へ、引き続き、広域化に必要な施設整備等に対して支援を実施した。 ・今後の本県における水道の広域連携・広域化の推進を図るために必要となる「沖縄県水道広域化推進プラン」について、沖縄県水道事業広域連携検討会で議論し令和6年3月に策定した。 ・小規模事業者においては、要望に応じて県企業局の協力のもと課題の整理・調整を実施した。”

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況（内部要因）	・座間味村においては揚水試験により井戸の揚水能力を確認することができた。渡名喜村では浄水調整池の耐震性が不明等の課題を整理し、水道広域化（県企業局からの水道用水受水）を推進する必要がある。	⑧ その他	・早期の水道広域化実現および水道サービス水準の向上を図るため、広域化を実施する県企業局に対して支援するための予算（渡名喜浄水調整池の耐震調査等）を確保する。
③ 他地域等との比較（内部要因）	・小規模事業者においては、「沖縄県水道広域化推進プラン」に基づき課題の整理・調整が必要である。	② 連携の強化・改善	・沖縄県水道事業広域連携検討会を開催し、今後の水道広域化に向けた課題の整理・調整を実施する。□